

作成日：2025 年 6 月 30 日

研究協力をお願い

昭和医科大学と横浜労災病院にて、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

後方循環の脳動脈瘤に対する血管内治療における術後血栓塞栓症の発症因子に関する後方視的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2018 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に、昭和医科大学藤が丘病院または横浜労災病院において、後方循環の脳動脈瘤（椎骨動脈、脳底動脈、後大脳動脈）に対して血管内治療を受けた患者さんが対象となります。通常診療で得られた情報を用いて解析を行い、新たな検査や処置は一切行いません。

2. 研究目的・方法

頭蓋内の後方循環（椎骨動脈、脳底動脈、後大脳動脈）に生じた脳動脈瘤に対する血管内治療において、術後の血栓塞栓症の発生に関連する因子を研究し、今後の治療におけるリスク低下を目的としています。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より 2027 年 3 月 31 日までとする。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・患者の背景（年齢と性別、診断名、最終的な全身状態）
- ・臨床背景因子の有無（高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙歴、飲酒歴）
- ・動脈瘤の特性（場所、大きさ、破裂の有無）
- ・術前後の採血検査（血小板数、凝固・線溶マーカー、抗血小板薬の効果測定）
- ・内服していた抗血小板薬の種類、治療時の医療機器の選択、治療手技の内容
- ・椎骨動脈にガイディングカテーテルを留置した時点の灌流状態
- ・手術に要した時間
- ・術後に行った MRI での脳梗塞病変の分布と病変の数

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用の ID を付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和医科大学藤が丘病院の外部から切り離されたコンピューター内および USB メモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体である USB メモリにもパスワードを設定し、セキュリティの高いレター

パックプラス（赤）を用いて、共同研究機関である横浜労災病院に郵送します。

6. 研究組織

昭和医科大学藤が丘病院 研究代表者・責任者 津本智幸

共同研究機関

横浜労災病院 研究責任者 戸村九月

7. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院 脳神経外科 氏名：朝倉健登

住所： 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号： [045-971-1151](tel:045-971-1151)

所属：横浜労災病院 脳神経血管内治療科 氏名：戸村九月

住所： 横浜市港北区小机町 3211 電話番号： [045-474-8111](tel:045-474-8111)